

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	食品開発科学科				
科目名称	技術者倫理					授業形態	講義		
科目コード	710006	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	近藤 知巳							ICT活 用	
授業概要	<p>本授業の目的は、技術者に求められる役割、社会的責任・法的責任・科学技術的視野・倫理観の視点からとらえた学びを通して、技術者として自覚や責任感を養う能力を身につけることを目指します。</p> <p>技術者倫理では法令や科学技術発展の経緯についての理解が必要です。更に技術者倫理が企業・自治体・団体等のコミュニティの中で、健全な活動を行うことの重要性について理解するとともに、自らが将来所属するコミュニティにおいて倫理的行動が出来るようになること、特に、実例を基に、問題の本質を特定し、倫理的にどのような行動をとるべきであるかを、考えます。</p>								
関連する科目	履修前に受講することが望ましい科目：「食品衛生法及び関係法令」								
授業の方法と進め方	自らが将来所属するコミュニティにおいて倫理的行動が出来るように、過去、倫理的に問題事例を挙げ、問題の本質を特定（特性要因図作成）し、倫理的にどのような行動をとるべきであるか（問題整理）をグループワークし、最後に発表しまとめます。								
授業計画【第1回】	ガイダンス								
授業計画【第2回】	生命倫理①（臨床・疫学研究における基本的知識）								
授業計画【第3回】	生命倫理②（動物実験における基本的知識）								
授業計画【第4回】	問題点の抽出方法：特性要因図の作成の仕方 問題点の整理方法：ウェートつけ								
授業計画【第5回】	過去の倫理的問題事例① 問題点の抽出と整理、どうすべきであったか？（グループワーク）								
授業計画【第6回】	倫理的問題事例① クループ発表と講評								
授業計画【第7回】	過去の倫理的問題事例② 問題点の抽出と整理、どうすべきであったか？（グループワーク）								
授業計画【第8回】	倫理的問題事例② クループ発表と講評								
授業計画【第9回】	過去の倫理的問題事例③ 問題点の抽出と整理、どうすべきであったか？（グループワーク）								
授業計画【第10回】	倫理的問題事例③ クループ発表と講評								
授業計画【第11回】	過去の倫理的問題事例④ 問題点の抽出と整理、どうすべきであったか？（グループワーク）								

授業計画 【第12回】	倫理的問題事例④ クループ発表と講評
授業計画 【第13回】	宮崎県内企業における商品開発と品質管理に係る事例紹介①
授業計画 【第14回】	宮崎県内企業における商品開発と品質管理に係る事例紹介②
授業計画 【第15回】	宮崎県内企業における商品開発と品質管理に係る事例紹介③
授業の到達目標	技術者としての自覚や責任感を養う能力を身につけること。 技術者としてコミュニティの中で、健全な活動を行うことの重要性について理解し、倫理的行動が出来るようになること。 技術者として、技術者倫理に反する事例について善悪の判断が出来る能力を身につけること。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学習 【予習】	事前資料を提示または配布するので、目を通すこと（約1時間）
授業時間外の学習 【復習】	グループワークを行いまとめること。（約2時間）
課題に対する フィードバック	課題レポートの解説を解説します。
評価方法・基準	グループワーク事例①～⑤課題をレポートとして提出し、その出来栄で評価する。
テキスト	パワーポイントを使用して授業を行う。資料は講義前に配布します。
参考書	なし